

TDC 通信パッケージ (Linux)

管理者メニュー操作説明書

初 版 2023年8月31日

改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容	担当
1.0	2023/08/31	初版	E-STAGE

目次

画面操作に関する注意点	5
管理者メニュー画面遷移図	6
管理者メニューの起動方法	7
システム起動	8
システムログ参照	9
(1) システムログリスト表示の為の条件入力と表示	9
システム監視	10
(1) システム稼動状況表示	10
システム環境設定操作	11
(1) 登録済みデータの表示	11
(2) 新規データの入力	12
(3) 新規登録データの参照/修正	13
(4) 新規登録データの登録	14
(5) 既存データの削除	15
(6) 既存データの修正	16
システム停止	17
利用者登録	18
(1) 登録済みデータの表示	18
(2) 新規データの入力(DIEX 汎用のみ使用)	19
(3) 新規データの入力(u-DIEX のみ使用)	20
(4) 新規データの入力(両方使用)	21
(5) 新規登録データの参照/修正	22
(6) 新規登録データの登録	23
(7) 既存データの削除	24
(8) 既存データの修正(接続先を変更しない場合)	25
(9) 既存データの修正(接続先を変更する場合)	26
振分け情報受信	28
(1) 振分け情報受信	28
管理者メニュー終了操作	29

画面操作に関する注意点

(1) 基本操作

- ・ キーボードより入力したい文字を入力してリターンキーを押します。

(2) 漢字入力について

- ・ 漢字入力に対応していません。

(3) 入力値の省略について

- ・ 入力を促すメッセージに”省略可”と記されている場合、値を入力せずに次の項目の入力に移る事ができます。省略する場合はリターンキーのみ押して下さい。

(4) 入力途中のキャンセルについて

- ・ 複数項目入力（システム環境設定入力等）の入力途中でキャンセルする場合は“¥quit”と入力しリターンキーを押してください。

(5) 一覧表示途中のキャンセルについて

- ・ 一覧を表示している途中にキャンセルする場合は“q”を入力し、リターンキーを押してください。

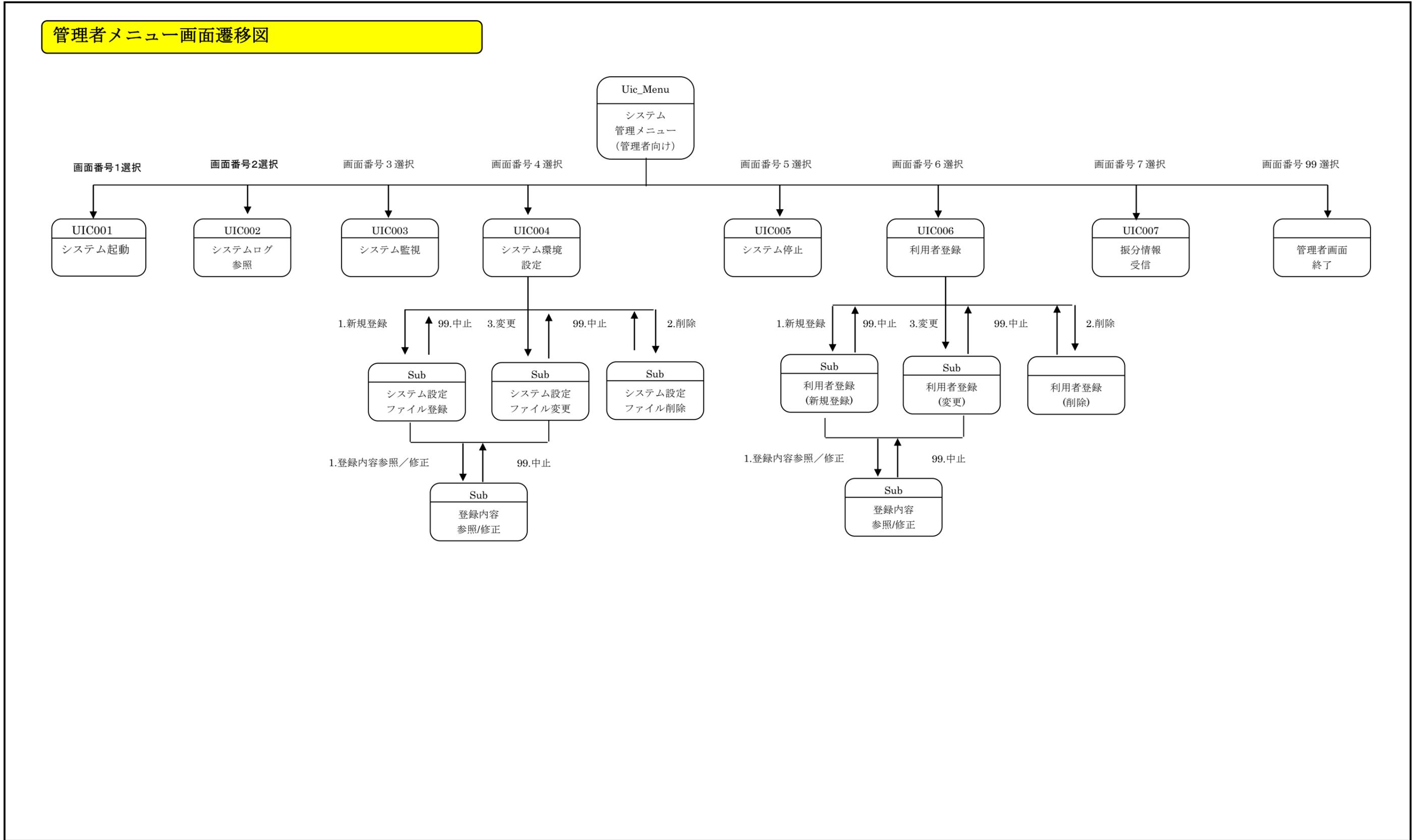
(6) 漢字表示について

- ・ 画面上に表示される文字は全てEUCコードです。
ネットワーク端末（telnet 等）でご利用になる場合、漢字コードをEUCに設定してください。

(7) システム起動中のマスタメンテナンスについて

- ・ システムが起動している場合、システム環境設定、利用者登録では、新規、変更、削除の各更新処理が実行できません（一覧の表示は可能です）。これらのプログラムでデータの更新処理を行いたい場合はシステムを一度停止させた後、再度プログラムを実行してください

管理者メニュー画面遷移図



管理者メニューの起動方法

- ①ターミナルエミュレータ（ウィンドウ）を起動します。
- ②Uic_menu と入力しリターンキーを押します。
- ③下記の画面が表示されます。

```
% Uic_menu
```

```
システム管理メニュー
```

1. システム起動
2. システムログ参照
3. システム監視
4. システム環境設定
5. システム停止
6. 利用者登録
7. 振分情報取得
99. 管理者画面終了

```
処理番号を入力してください。==>
```

システム起動

- ①管理者メニューで1を入力します。
- ②起動エラー発生時のみ下記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
システムは既に起動中です。  
<<対処方法>>  
サービス管理者に連絡してください。  
  
#####
```

システムログ参照

- ①管理者メニューで 2 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) システムログリスト表示の為の条件入力と表示

日時指定方法 (1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定 ¥¥quit:中止) ==>1

開始日時 (YYMMDDhhmm ¥¥quit:中止) を入力してください。 ==>0108011900

終了日時 (YYMMDDhhmm ¥¥quit:中止) を入力してください。 ==>0108012000

	発生日時	処理シケンス	プログラムID	サブプログラムID	ステータス
#1	01/08/01 19:19:02	00000000	F T P 制御 (PW9B215)	初期化 (Ftp_ProcInit)	A001o998
#2	01/08/01 19:19:02	00000000	管理サービス (PW9B214)	初期化 (Aut_ProcInit)	A001n998
#3	01/08/01 19:19:02	00000000	ジョブ管理 (PW9B211)	ジョブ管理メイン (SW9B201)	Y000k001
#4	01/08/01 19:19:02	00000000	ログ管理 (PW9B216)	ログ管理メイン (SW9B201)	Y000q001
#5	01/08/01 19:19:02	00000000	サービススケジュール	サービススケジュールメイン	S000a001
#6	01/08/01 19:19:09	00000000	システム監視 (PW9B212)	プロセスチェック (Sys_ProcCheck)	A001l998
#7	01/08/01 19:19:09	00000000	システム監視 (PW9B212)	初期化 (Sys_ProcInit)	A001l998

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n : システム環境にて設定)
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

表示終了後メニューに戻ります。

◎入力規則

- ・開始終了日付指定 : YYMMDDhhmm (西暦下 2 桁, 月, 日, 時間, 分)
- ・過去日 : 999 日まで
- ・過去時間 : 999 時間まで

システム監視

①利用者メニューで3を入力します。

(1) システム稼動状況表示

プロセス名称	起動フラグ	起動時間
sysctl	起動中	08/01
ftpctl	起動中	08/01
autctl	起動中	08/01
logctl	起動中	08/01
udxintg	起動中	19:19:02
udxmon	起動中	19:19:02
udxftp	起動中	19:19:02

表示終了後、ENTER キーを押すとメニューに戻ります。

24 時間をすぎると日付表示に変わります。

システム環境設定操作

- ①管理者メニューで 4 を入力します。
- ②下記の登録済みリストが表示されます。（1件もデータがない場合は、リスト表示はありません。）
- ③データ登録／修正時、不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 登録済みデータの表示

	環境名	キー名	データ
#1	Customer Code (self-code)	customer_code	
#2	Connection Type	connect_type	2
#3	Connection Timeout	time_ftpctrl	60
#4	Management Server Timeout	time_aut	90
#5	Demand Transmitting Timeout	time_ftpsend	30
#6	Response Receiving Timeout	time_ftprecv	30
#7	Local Storage Path Name	local_keep_path	/export/home/ftm/tns/local
#8	Module Path Name	module_path	/export/home/ftm/tns/bin
#9	Log Path Name	log_path	/export/home/ftm/tns/log
	===== MORE =====		

登録済みのデータが1件もない場合はこのリスト表示はありません。

データがn件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。（n：システム環境にて設定）
qキーを押すことによりデータの表示を中止します。

全てシステムの実行に関わる項目です。操作は慎重に行ってください。

(2) 新規データの入力

- ・登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

- ・処理番号1を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- ・全てのデータを入力する必要があります。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

環境名（MAX32バイト ¥¥quit:中止）
を入力してください。==>ENV999

キー名（MAX32バイト ¥¥quit:中止）
を入力してください。==>KEY_999

データ（MAX128バイト ¥¥quit:中止）
を入力してください。==>/export/home

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>1

◎入力規則

- ・環境名：英数字、一部記号、全角半角文字のみ
- ・キー名：英数字、一部記号のみ
- ・データ：英数字、一部記号のみ

(3) 新規登録データの参照／修正

- ・新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- ・処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されます。
修正する場合は該当項目の左側にある数字を入力してください。
- ・参照のみの場合は 99 を入力してください。

1:環境名	ENV999
2:キー名	KEY_999
3:データ	/export/home

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>2
キー名 (MAX32 バイト ¥quit:中止) を入力してください。==>KEY_9871

(4) 新規登録データの登録

- ・新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。
- ・登録処理後は削除、修正が可能です。

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- ・処理番号 2 を入力すると登録されます。
- ・登録時、登録しようとしているキー名が既にマスタに存在する場合以下の内容が表示され登録処理は実行されません。

```
#####  
<<エラー理由>>  
  (システム環境ファイル) そのキーは既に存在します。  
<<対処方法>>  
  別のキーに変更してください。  
#####
```

- ・この場合キー名を変更するか、既存のキー重複データを削除してください。

(5) 既存データの削除

- ・登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>2

- ・処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくはキー名（¥:中止）を入力してください。==>#3

- ・処理が正常に終了すると以下の内容が表示されます。

処理番号（1:別のデータを処理 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

- ・エラーが発生した場合以下のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
（システム環境ファイル）テンポラリファイル読み込みエラー  
<<対処方法>>  
実行環境を確認してください。  
#####
```

(6) 既存データの修正

- ・登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>3

- ・処理番号3を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくはキー名（¥¥:中止）を入力してください。==>TEST01

以下のように登録内容が表示されます。

1:環境名	ENV999
キー名	KEY_999
2:データ	/export/home

修正する項目番号（99で中止）を入力してください。==>2

キー名（MAX32バイト ¥¥quit:中止）を入力してください。==>/export/home/data

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>2

処理番号2を入力すると登録されます。

キー名はキー項目の為、修正できません。変更する場合は一旦削除し再登録してください。

システム停止

- ①管理者メニューで 5 を入力します。
- ②停止エラー発生時のみ下記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
システムが起動していません  
<<対処方法>>  
システムを起動してください。  
  
#####
```

利用者登録

- ①管理者メニューで 6 を入力します。
- ②下記の登録済みリストが表示されます。（1件もデータがない場合はリスト表示はありません。）
- ③データ登録／修正時、不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 登録済みデータの表示

利用者 ID	パスワード種別	接続先	取引先コード	プロファイルID	管理サーバ ID	
#1	User1	0001	両方	TCDE8489	USER1@UDCOM	959G9093
#2	User2	0002	DIEX 汎用	TCDE8490	なし	959G9094
#3	User3	0003	u-DIEX	TCDE8491	USER3@UDCOM	なし
#4	User4	0004	両方	TCDE8502	USER4@UDCOM	959G9096
#5	User5	0005	DIEX 汎用	TCDE6001	なし	959G9097
#6	User6	0006	u-DIEX	TCDE8674	USER6@UDCOM	なし
#7	User7	0007	両方	TCDE8801	USER7@UDCOM	959G9099
#8	User8	0008	DIEX 汎用	TCDE9801	なし	959G91000
#9	User9	0009	u-DIEX	TCDE6601	USER9@UDCOM	なし
===== MORE =====						

登録済みのデータが1件もない場合はこのリスト表示はありません。

データがn件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。（n：システム環境にて設定）
qキーを押すことによりデータの表示を中止します。

(2) 新規データの入力(DIEX 汎用のみ使用)

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>

- 処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- 全てのデータを入力する必要があります。

接続先(1:DIEX 汎用のみ 2:u-DIEX のみ 3:両方 99:中止)を入力してください。==>1

<共通情報>-----

利用者 I D (MAX20 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>User1

パスワード種別 (MAX4 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0002

取引先コード (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>TCODE1

<DIEX 汎用固有情報>-----

管理サーバ I D (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>USERID002

管理サーバパスワード (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>PASSWORD

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>1

◎入力規則

- ・利用者 I D : 制約無し（英数字推奨）（キー項目）
- ・取引先コード : 大英数字
- ・パスワード種別 : 英数字（キー項目）
- ・管理サーバ I D : 英数字
- ・管理サーバパスワード : 英数字

※キー項目は既に登録されている値を登録しようとするエラーになります。

※種別“0001”（デフォルト）のデータは必ず必要です。

※利用者登録が5を超える時は“導入手順書”の“8. 利用者数が5を超える時のOS設定”に従ってOSの設定を変更してください。

(3) 新規データの入力(u-DIEXのみ使用)

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>

- 処理番号1を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- 全てのデータを入力する必要があります。

接続先(1:DIEX 汎用のみ 2:u-DIEXのみ 3:両方 99:中止)を入力してください。==>2

<共通情報>-----

利用者ID (MAX20バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>User1

パスワード種別 (MAX4バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>0002

取引先コード (MAX8バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>TCODE1

<u-DIEX固有情報>-----

プロセスID (MAX16バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>0999U03@UDCOM

仮パスワード (MAX24バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>PASSWORD

本パスワード (MAX8バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>PASSWORD

プロセス固有情報のパス (MAX100バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/PROCESS

受信パス1 (MAX100バイト ¥¥quit:中止)

を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>1

(4) 新規データの入力(両方使用)

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る) を入力してください。==>

- 処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- 全てのデータを入力する必要があります。

接続先(1:DIEX 汎用のみ 2:u-DIEX のみ 3:両方 99:中止)を入力してください。==>3

<共通情報>-----

利用者ID (MAX20 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>User1

パスワード種別 (MAX4 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0002

取引先コード (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>TCODE1

<DIEX 汎用固有情報>-----

管理サーバID (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>USERID002

管理サーバパスワード (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>PASSWORD

<u-DIEX 固有情報>-----

プロセスID (MAX16 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0999U03@UDCOM

仮パスワード (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>PASSWORD

本パスワード (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0999PASS

プロセス固有情報のパス (MAX100 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/PROCESS

受信パス1 (MAX100 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

(5) 新規登録データの参照／修正

- 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- 処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されます。修正する場合は該当項目の左側にある数字を、入力してください。
- 参照のみの場合は 99 を入力してください。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

<登録内容の表示>-----

1. 利用者 I D	User1
2. パスワード種別	0001
3. 取引先コード	TCODE1
4. プロセス I D	0999U03@UDCOM
5. 仮パスワード	PASSWORD
6. 本パスワード	0999PASS
7. プロセス固有情報のパス	/DIEX_SHR_T/PROCESS
8. 受信パス 1	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>3

取引先コード (MAX8 バイト ¥quit:中止) を入力してください。==>MSGID01

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>

◎入力規則

- 利用者 I D : 制約無し (英数字推奨) (キー項目)
- パスワード種別 : 英数字 (キー項目)
- 取引先コード : 大英数字
- プロセス I D : 大英数字、一部記号
- 仮パスワード : 英数字
- 本パスワード : 大英数字
- プロセス固有情報パス : 英数字、".", "_", "/", ""
- 受信パス 1 ~ 1 0 : 英数字、".", "_", "/", ""

(6) 新規登録データの登録

- ・ 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。
- ・ 登録処理後は削除、修正が可能です。

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>2

- ・ 処理番号 2 を入力すると登録されます。
- ・ 登録時、登録対象の利用者 ID が既にマスタに存在する場合は、以下の内容が表示され登録処理は、実行されません。

```
#####  
<<エラー理由>>  
(パスワードマスタ) そのキーは既に存在します。  
<<対処方法>>  
別のキーに変更してください。  
#####
```

- ・ この場合利用者 ID を変更するか、既存のキー重複データを削除してください。

(7) 既存データの削除

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>2

- 処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくは利用者ID（※:中止）を入力してください。==>#3

- 処理が正常に終了すると以下の内容が表示されます。

処理番号（1:別のデータを処理 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

エラーが発生した場合以下のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
（パスワードマスタ）テンポラリファイル読み込みエラー  
<<対処方法>>  
実行環境を確認してください。  
#####
```

(8) 既存データの修正(接続先を変更しない場合)

登録済みリスト表示後(既存データが存在した場合)、以下の内容が表示されます。

処理番号(1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る)を入力してください。==>3

処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくは利用者ID(¥:中止)を入力してください。==>#3

レコード番号もしくは利用者IDを入力すると以下の画面が表示されます。

接続先を変更しますか?(1:変更する 2:変更しない 99:中止) ==>2

以下のように登録内容が表示されます。

接続先を変更しますか?(1:変更する 2:変更しない 99:中止) ==>2

<登録内容の表示>-----

接続先	両方使用
利用者ID	User1
パスワード種別	0001
1. 取引先コード	TCODE1
管理サーバID	SRVIDU03
プロセスID	0999U03@UDCOM
2. 受信パス1	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03
3. 受信パス2	
4. 受信パス3	
5. 受信パス4	
6. 受信パス5	
7. 受信パス6	
8. 受信パス7	
9. 受信パス8	
10. 受信パス9	
11. 受信パス10	

修正する項目番号(99で中止)を入力してください。==>2

取引先コード (MAX8バイト ¥quit:中止)を入力してください。==>MSGID01

処理番号(1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止)を入力してください。==>

処理番号2を入力すると登録されます。

利用者ID、本パスワード、プロセス固有情報は、修正できません。変更する場合は一旦削除し再登録してください。

(9) 既存データの修正(接続先を変更する場合)

登録済みリスト表示後(既存データが存在した場合)、以下の内容が表示されます。

処理番号(1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る)を入力してください。==>3

処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくは利用者ID(¥:中止)を入力してください。==>#3

レコード番号もしくは利用者IDを入力すると以下の画面が表示されます。

接続先を変更しますか?(1:変更する 2:変更しない 99:中止) ==>1

接続先を変更する場合、以下の画面が表示されます。

変更する接続先(現在値:DIEX(汎用)2:u-DIEX(汎用)のみ 3:両方使用 99:中止)を入力してください==>2

変更する接続先を入力すると以下のように変更に必要なデータの入力画面が表示されます。

接続先を変更しますか?(1:変更する 2:変更しない 99:中止) ==>1

変更する接続先(現在値:DIEX(汎用)2:u-DIEX(汎用)のみ 3:両方使用 99:中止)を入力してください==>2

<u-DIEX固有情報>-----

プロセスID (MAX16バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0999U03@UDCOM

仮パスワード (MAX24バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>PASSWORD

本パスワード (MAX8バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>PASSWORD

プロセス固有情報のパス (MAX100バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/PROCESS

受信パス1 (MAX100バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03

処理番号(1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止)を入力してください。==>

処理番号2を入力すると登録されます。

- ・ 共通情報についてはそのまま流用されます。取引先コードの変更が必要な場合は、処理番号 1 を入力し、一旦登録内容を表示後、修正を行ってください。
- ・ 接続先を変更した場合、登録前でも変更前の接続先の情報は参照できません。
(DIEX(汎用)、u-DIEX(汎用)→両方使用を除く)
内容を参照する場合は一度処理を中止し、再度、新規登録/修正/削除の処理選択画面より選択し直してください。
- ・ 修正時受信パス 2～10の内容を削除する場合は、入力せずに ENTER キーを押してください。
なお、受信パス 1 については必須項目の為、内容を削除することはできません。

振分情報受信

①管理者メニューで7を入力します。

(1) 振分情報受信

処理番号 (1:受信 2:強制受信 99:中止) を入力してください。==>

・前回受信した情報も受信したい場合は“2.強制受信“を入力してください。

管理者メニュー終了操作

- ①管理者メニューで 99 を入力します。